

第4分科会「キャリア教育」

令和3年8月6日(金)

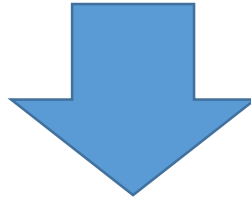
「豊かな人生を切り拓く力を育むキャリア教育のあり方」

「沿岸北部技能認定会を通して」

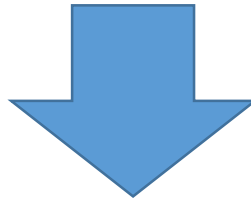


岩手県立盛岡みたけ支援学校
校長 工藤 弘毅

高等部のあり方検討



就労を目指す生徒への対応不十分



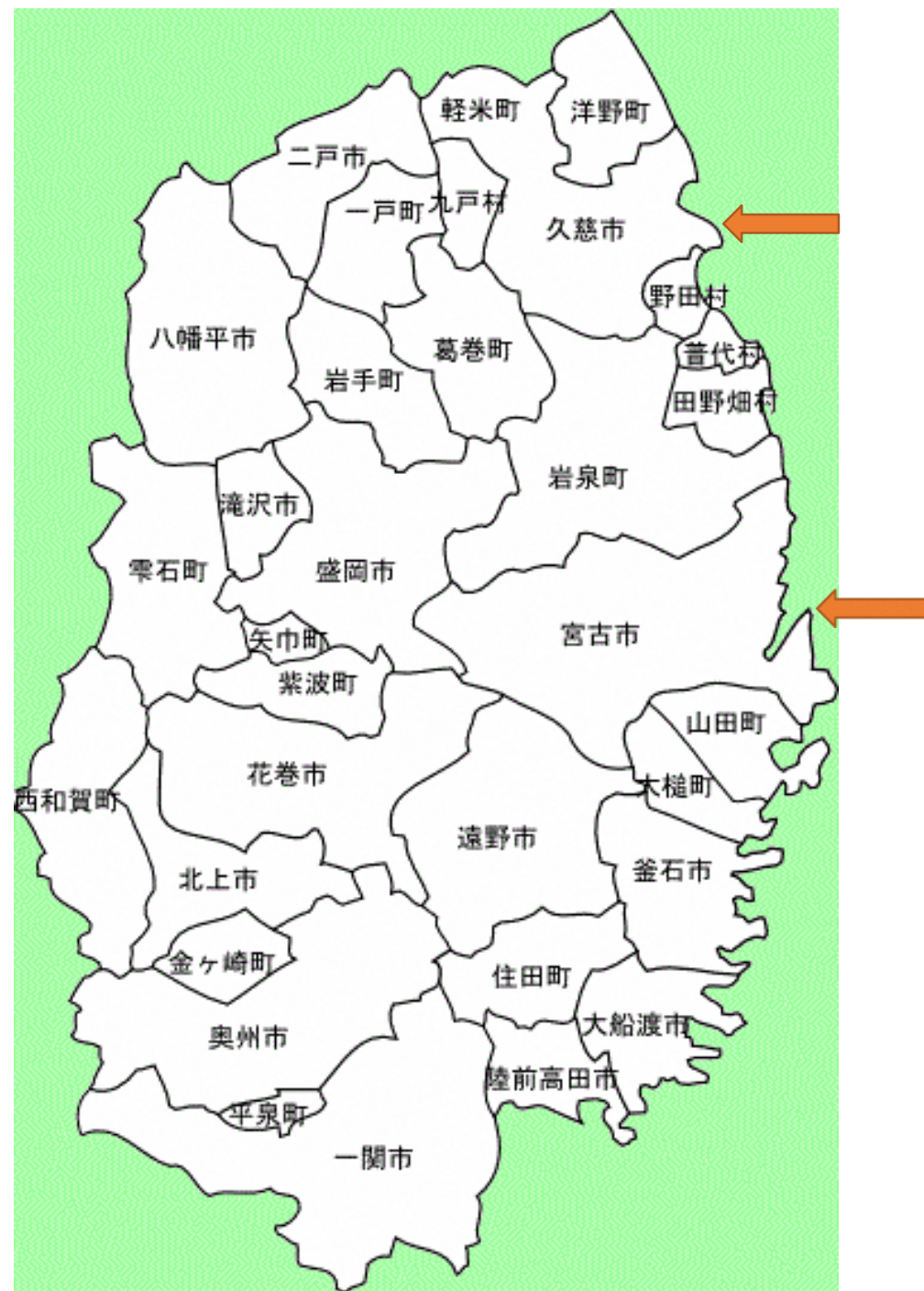
特別支援学校技能認定会

技能認定会の基本的な考え方

- 日々の学習の延長上
- 多くの生徒が参加し励みに
- 関係機関と一体となった運営

	H29第1回技能認定会				H30第2回技能認定会				R1第3回技能認定会			
実施日	平成29年11月21日（水）				平成30年11月14日（水）				令和元年11月14日（木）			
会場	岩手県立総合教育センター				花巻市総合体育館				花巻市総合体育館			
参加人数	清掃：21	77	合計 96		清掃：47	121	合計 140		清掃：42	111	合計 126	
	物品運搬：19				物品運搬：24				物品運搬：24			
	事務補助：37				事務補助：50				事務補助：45			
	マッサージ：10	マッサージ：8			マッサージ：6							
	PCデータ入力：9	PCデータ入力：11			PCデータ入力：9							
認定等級		初級	中級	上級		初級	中級	上級		初級	中級	上級
	清掃	3	10	8	清掃	11	21	15	清掃	22	20	0
	物品運搬	3	7	9	物品運搬	2	9	13	物品運搬	3	8	13
	事務補助	2	25	10	事務補助	3	18	29	事務補助	1	29	15
	計	8	42	27	計	16	48	47	計	26	57	28
審査員数	14（12企業）				25（25企業）				24（23企業）			
参観者数	企業：7 関係機関：8 保護者等：8				企業：8 関係機関：8 保護者等：25				企業：33 関係機関：8 保護者等：14			
成果	・他校生徒の活動を見ることによる生徒、職員の意識向上 ・会場使用料等なし				・他校生徒の活動を見ることによる生徒、職員の意識向上 ・参加人数の増加 ・一つの会場で実施することにより、見学しやすく生徒も見通しがもてる							
課題	・参加人数に制限あり ・各会場が分散 ・県内各地からの企業の参観は難しい				・参加人数の増加に伴い、審査員の確保が難しい ・会場使用料、設営等に係る負担あり ・県内各地からの企業の参観は難しい							

広い岩手



	R2 第4回技能認定会											
	内陸会場				沿岸南部会場				沿岸北部会場			
実施日	令和2年11月12日（木）				令和2年12月11日（金）				令和2年11月27日（金）			
会場	花巻市総合体育館				気仙光陵支援学校				久慈拓陽支援学校			
参加人数	清掃：39 事務補助：37		合計76		会議設営：10		合計10		物品運搬：11 商品管理：11		合計22	
認定等級		初級	中級	上級		初級	中級	上級		初級	中級	上級
	清掃	10	18	11	会議準備	2	3	5	物品運搬	2	2	7
	事務補助	0	14	23					商品管理	0	4	7
	計	10	32	34	計	2	3	5	計	2	6	14
審査員数	22（20企業）				6（5企業）				6（3企業）			
参観者数	企業：8 関係機関：16 保護者等：19				企業：0 関係機関：11 保護者等：0				企業：11 関係機関：3 保護者等：1			
成果	・他校生徒の活動を見ることによる生徒、職員の意識向上 ※これまでの経験を生かし、コロナ対策をしつつスムーズに運営				・新しい種目に取り組むことによる 生徒の新たな良さや課題の発見 ・地元企業による審査 ※参加者数の調整や校内ライブ配信⇒三密を避けたコロナ禍での開催				・地元産品を取り入れた種目の実施 ・種目参加以外の生徒の運営補助参加と関り ・地元企業による審査			
課題	・次年度の分散開催に向けての役割分担や情報共有				・準備段階から企業を巻き込んだ推進計画づくり				・会場準備の時間の確保 ・限られたスペースでの密を避けた実施			
3会場共通の成果	・審査員との打ち合わせを十分に行い、丁寧な評価につなげることができた。 ・生徒は緊張感をもって種目に参加し、真剣に一生懸命に取り組んだ。											
3会場共通の課題	・種目内容へのコミュニケーションの要素の取り入れ方 ・取組のPRの仕方、集客力の向上											

沿岸北部技能認定会の基本的な考え方

- より地域性を重視
- 種目終了後その場で講評
- 「一人一役」の全員参加
- 企業へのPR





参加生徒の感想

「緊張したが参加して良かった」

「審査員からの講評に納得し、今後の目標につながった」

「意外と楽しかった、また参加したい」

「自分のできる事とできない事がわかって良かった」













どんとはれ